

令和5年度文部科学大臣表彰（優秀教職員）受賞者功績等

1 教職員（優秀教職員）（22名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
滝川市立滝川第二小学校 教諭 おおやま かつみ 大 山 勝 己 （47歳）	13年	令和 4 年度	<p>体育専科教員として、小学校体育科における授業改善や、子どもたちの運動に対する意欲の向上及び運動環境の整備などに尽力するとともに、体力向上に向けた取組を推進する中で、自身の成果を積極的に発信するなど、管内の体力向上に向けた創意工夫ある取組を展開している。</p> <p>特に、「子どもの体力ボトムアップ事業」において、児童生徒が自ら運動に親しむことを目的とした運動プログラムの実践研究を行うとともに、運動プログラム等を掲載した児童生徒向けリーフレットの活用を図るなどした取組は他の模範となっており、本道の体力向上の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、これまでの体育専科教員としての経験を生かして「新体力テストの測定・活用のポイント」動画を作成し、管内における新体力テストの実施や指導の改善に中核的な役割を果たすとともに、豊富な経験に基づいた小学校体育科における授業改善の成果を管内に発信するなど、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教育者表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もこれまでの実践を推進している。</p>
北海道夕張高等学校 教諭 わかふじ ひかり 若 藤 妃加莉 （39歳）	13年	令和 4 年度	<p>数学科教諭として、「個に応じた指導」の充実に取り組むとともに、教務部長として、ICT活用の推進や「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を組織的に推進するため、校内体制の構築・強化に取り組んでいる。</p> <p>特に、文部科学省研究開発学校の主担当として、遠隔授業における個別最適な学びの推進に向けた指導方法等の研究に尽力するとともに、研究開発学校フォーラムにおいて、北海道代表として3年間の研究の成果を発表し、本道教育の振興と充実に大きく貢献している。</p> <p>また、北海道教育委員会による研究指定を推進するSCRUM委員会の一員として、「単元配列表」の作成に中核的な役割を果たすとともに、公立高等学校学校運営研修会において提言を行うなど、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICT活用に関する校内研修を積極的に進めるなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
江別市立上江別小学校 教諭 ふかざわ けんた 深 澤 健 太 （41歳）	19年	令和 4 年度	<p>小学校教諭として、研究や研修等を通じて教師の指導力向上に尽力するとともに、令和2年度からは、授業改善推進チーム活用事業における推進教員として、地域における組織的な授業改善の取組の充実に尽力した。</p> <p>特に、校内で組織的に取り組むため、全教員で統一した指導方法を徹底し、児童が主体的に学習に取り組むことができるようにするなど、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組や、対話や交流する場面において1人1台端末の効果的な活用を図った取組は連携校の模範ともなった。</p> <p>また、育成を目指す資質・能力を明確にした単元の指導計画の工夫や1単位時間の授業改善のポイントを分かりやすく示した好事例をまとめ、映像版実践資料の作成に中核的な役割を果たすとともに、全道に取組の成果を発信するなど、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も上江別小学校内で学力向上推進チームの一員として児童のテスト結果等の分析、向上策の立案等、自身の経験を生かした考えの伝播及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 数 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
江別市立大麻東中学校 教諭 かとう たかあき 加 藤 孝 章 （42歳）	15年	令和 4 年度	<p>中学校外国語科担当教諭として外国語教育において卓越した専門性と指導力を発揮し、学習指導の充実に尽力するとともに、江別市内の小・中・高等学校英語教育支援事業の推進校担当教諭として、指導方法の改善などに取り組み、公開授業の実施や小・中学校9年間の系統性を踏まえたCAN-DOリストの作成、授業動画の作成等を行い、管内の外国語教育の発展・充実に寄与した。</p> <p>特に、日常的に豊かな言語活動を保障する授業づくりに取り組み、自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動を充実させることで、生徒の主体的な学びを実現させ、資質・能力の育成を図っており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も学年主任を務め、確実な学力向上を実現させるとともに、学校として目指す子ども像の実現を図り、校内のミドルリーダーとして、生徒への生活指導及び学習指導、他教職員とのコミュニケーションやアドバイス等による指導力等の底上げや学校運営の円滑化などに対する中核的な役割を果たしている。</p>
北海道札幌稲雲高等学校 教諭 ふなだ さいいちろう 舟 田 彩一朗 （40歳）	15年	令和 4 年度	<p>高等学校教諭として、保健体育教育において卓越した専門性と指導力を発揮し、生徒の興味・関心を高め、生徒が主体的に学び、資質・能力を育む授業の実践に取り組むとともに、授業改善に力を尽くしている。</p> <p>特に、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践や、単元配列表を活用した保健体育科の各科目における単元の指導計画を作成し、観点別学習状況の評価の実施に先進的に取り組むなど、指導と評価の一体化の実現に向けた教育実践に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、各種研究協議会等において実践発表を行い、その成果を広く普及するとともに、令和3年度に北海道高等学校「未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業」における教科指導講座スペシャリストを務めるなど、北海道における保健体育教育の充実・発展に大きく貢献した教育実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も指導と評価の一体化の実現に向けた取組を実施している。</p>
北海道新篠津高等養護学校 教諭 やぎ いくろう 八 木 郁 朗 （47歳）	22年	令和 4 年度	<p>特別支援学校教諭として、個に応じた指導の充実に図るため、ICTを活用した創意工夫のある授業を実践するとともに、全道のICTの取組の充実に寄与するよう校内外の研修会等において実践を発信している。</p> <p>ICTに係る専門的な知識・技能を生かし、校内環境の整備や研修の充実に努め、教職員のICT活用を推進するとともに、ICTの活用を通じて各生徒の障がい特性に応じたきめ細かな指導や、学習意欲の向上に大きな成果を上げている。</p> <p>また、北海道教育委員会の特別支援教育ICT活用検討チーム委員や北海道立特別支援教育センター主催の研修講座、近隣校の校内研修会の講師として、全道のICT教育を普及推進する役割を担うなど、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もICTを活用した指導や教育環境の充実に努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道倶知安農業高等学校 教諭 すずき たかし 鈴木 貴史 (40歳)	11年	令和 4 年度	<p>長年の担任業務や教科指導で得た経験を生かし、北海道倶知安農業高等学校の生徒指導部長として学校運営の中核的な役割を果たしている。また、初任段階養護教諭の講師として生徒への対応や支援について指導するなど、学校内外及び管内の教育活動の充実に尽力している。特に、集団カウンセリングや自殺予防教育では、「高校生ステップアッププログラム」を活用し、令和2年度から令和4年度まで主担当として事業を実施し、生徒に命の尊さへの理解を深めさせた。その取組は、他の模範となり、本道及び管内の自殺予防教育の振興と充実に向けた実践として高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰後もICTを活用した自殺予防アンケートの導入に向けた校内調整に尽力するなど、啓発活動と自己研さんに努めている。</p>
北海道倶知安高等学校 教諭 はぶ こうたろう 土生 紘太郎 (34歳)	10年	令和 4 年度	<p>高等学校の英語科教諭として、楽しく学びながら英語力を伸ばす指導を日頃より心掛け、生徒一人一人に基礎・基本の定着を図る教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、学習指導において、生徒が目的意識をもって主体的に学ぶことができるよう日々の授業改善、さらに指導の改善につながる評価方法の研究に努めている。これらの実践については、北海道高等学校英語教育研究会の講師委員として実践発表を行い、高い評価を得ており、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も日々研さんに努めるほか、北海道教育委員会が実施準備を進めている高校生の英語力を測る「新パフォーマンステスト」の問題作成委員の一人となり、今後の活躍が期待される。</p>
北海道余市養護学校 教諭 おくの まさとし 奥野 雅理 (37歳)	11年	令和 4 年度	<p>特別支援学校の学級担任として、アセスメントに基づく個別最適な指導・支援を行い、できることを増やし、主体的に学習に取り組む児童を目指した教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、自立活動の指導において、児童一人一人の障がいの状態等を適切に把握し、個に応じた教材・教具の開発と授業改善を行うとともに、道内の研修講座や校内研修等で実践発表を行い、高い評価を得ている。</p> <p>また、学校と寄宿舎の連携による基本的な生活習慣の向上の取組について、第61回全日本特別支援教育研究連盟全国大会秋田大会において発表を行い、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も高い専門性を生かした校内支援を実施している。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
苫小牧市立苫小牧東小学校 教諭 なかざわ ふみひこ 中 澤 文 彦 （47歳）	24年	令和 4 年度	<p>小学校の教員として、児童の学力向上に向けた授業改善に積極的に取り組むとともに、校内のミドルリーダーとして、組織的な教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、教員の指導力と児童の学力向上に向け、算数の授業において「記録に残す評価」を実施する場面を取り上げ、評価の具体と児童に対する手立てを紹介する映像版実践資料を作成し、「指導と評価の一体化による授業実践」について、苫小牧市はもとより、管内に広く発信し、高い評価を得ている。</p> <p>また、苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会の一員として、研修講座の講師を務めたほか、指導計画のポイントや科目別の指導計画作成例を具体的に紹介した「苫小牧っ子学力UPハンドブック」を作成し、全教員に配布するなど、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進に貢献し、本道の教員の授業力向上に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も学力の定着を図る授業づくりの提案など、組織的な学力向上に向けた取組を推進するとともに、普及啓発に努めている。</p>
市立函館高等学校 教諭 いそなみ りえ 磯 波 理 恵 （43歳）	20年	令和 4 年度	<p>長年にわたり、中学校の国語科担当教員として、高い専門性と優れた実践力を発揮し、函館市内中学校の国語教育の充実・発展に尽力してきた。</p> <p>自ら書道の研さんを積み、数々の書道展で受賞しているほか、多くの作品審査に携わり、書道教育のけん引役として書道の普及・奨励に貢献した。</p> <p>部活動の顧問として生徒への技術指導に尽力し、生徒の作品展作品が受賞するなど、校内外においてその指導力が高く評価されており、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も、多数の展示会への出品や、所属校生徒や道内の高校生への指導、他校の顧問に対する書道教育の指導助言のほか、函館市内の展覧会で作品解説を行うなど、地域に根差した活動を積極的に展開している。</p>
北海道函館中部高等学校 教諭 やまがた けい 山 形 慶 （34歳）	10年	令和 4 年度	<p>高等学校の理科教諭として、生徒の科学的探究心を育成する実験や実習を多用した授業づくりを行うとともに、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）研究開発の担当者として科学的リテラシーを備えた人材を育成する教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、理科の学習指導については、北海道教育委員会主催の教科指導講座スペシャリストとして、生徒の科学的に探究する力を養う授業実践の普及に取り組み、全道の理科教員の指導力向上に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、函館・高等教育プラットフォーム高大共同全体研修会にて発表を行っている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
奥尻町立青苗小学校 教諭 まつばら ともみ 松 原 知 未 (39歳)	14年	令和 4 年度	<p>令和3年度に、北海道道徳教育推進会議に参加し、同会議で得ることができた道徳科における授業改善の在り方等の情報・成果を踏まえた授業公開を行い、道徳教育の充実に向けその普及を図っている。</p> <p>また、令和4年度においては、全教員の実践意欲の向上や自校における各教科等の授業改善に積極的に取り組むとともに、指導計画や指導方法の改善・充実に努めており、特設授業の公開を通じて、自校の教育活動の発展・充実を図っている。その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、町と連携した児童の読書習慣形成や複式学級におけるA I型ドリルの活用等に努めている。</p>
北海道旭川東高等学校 主幹教諭 さとう としゆき 佐 藤 俊 行 (43歳)	17年	令和 4 年度	<p>授業におけるICT活用の先駆者として、オンラインによる教材提供と遠隔の講習を開始し、YouTubeを活用した授業動画の配信を行った。令和3年度には、全ての教職員がYouTubeを活用した授業動画の配信ができるよう推進チームを編成するとともに、校内研修を実施し、分散登校時のハイブリッド型授業を実現した。これらの取組を全道に発信したことなどにより、全道のICT教育の振興と充実に大きな成果を上げた。その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も総務部長として校務のICT化、ペーパーレス化と業務の効率化を図り、Twitterでの情報提供、オンラインによる学校説明会開催、Zoomを活用したハイブリッド型授業の実施などの普及啓発を図るため自己研さんに努めている。</p>
北海道鷹栖養護学校 教諭 いけだ ふみひろ 池 田 文 宏 (45歳)	21年	令和 4 年度	<p>特別支援教育コーディネーターとして、小・中学校等における特別支援教育の在り方や支援の方法、合理的配慮の観点からの助言を行い、管内の特別支援教育の推進に尽力している。</p> <p>特に、単なる指導・支援の技術や方法だけでなく、各地域の資源や学校の特色等に応じた具体的で実践的な助言を行うことにより、小・中学校等の教員が主体的に取組を実践できるように努めている。</p> <p>また、校内支援にも力を入れており、教頭と連携し役割分担しながら進めることにより、円滑に校内の教員への助言を行うなど、工夫して取り組んでいる。</p> <p>市町村教育委員会からの委嘱を受け、就学相談等における心理検査の実施や検査結果を踏まえた学びの場についての助言、他の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修を実施するなど、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、地域の特別支援教育の中核を担う小・中学校等の教員との特別支援教育や教育相談に関する専門性の向上を図る交流会を実施し、特別支援学校のセンター的機能を発揮する取組を行うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
礼文町立礼文小学校 教諭 やえがし ひろき 八重樫 裕 希 （42歳）	19年	令和 4 年度	<p>児童の表現力の育成を図るため、国語科と算数科を中心とした組織的な授業改善を行うとともに、複式授業の効果的な指導について、校内研修を実施するなど、学校課題の解決に大きな役割を果たしてきた。</p> <p>特に、複式学級経験が浅い教員でも複式学級の授業を行える「複式スタンダード」を作成し、自らの授業公開により具体的な指導法を説明するなど、複式授業の効果的な指導法の実践・発信において、中核的な役割を担っている。</p> <p>また、「学習内容を活用する力」「資料から必要な情報を読み解く力」「資料を基に自分の考えを述べる力」を校内研修の柱として授業を通して知識を深めるとともに、N I E宗谷地区セミナーを開催し、研究部長として研究内容及び公開授業の概要説明を行い、参加者と研究及び実践について討議し知見を広めた。加えて、セミナーにおいては参加者や助言者と意見交換を行い、全道に情報を発信するなど、礼文町の教育の充実に大きく貢献した。その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も研究部長として令和の日本型学校教育を具現化した教科ごとの「授業づくりマニュアル」を作成し、学校研究として実践研究を行い、町研究大会で公開提案授業を実施するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
枝幸町立枝幸小学校 教諭 かしわや 柏 谷 めぐみ （50歳）	29年	令和 4 年度	<p>生徒指導部長として、いじめに関わる校内研修の企画や生徒指導部通信による保護者啓発など、組織的な取組を推進してきた。</p> <p>「幼小連携・接続推進リーダー活用事業」に当たり、幼保小のアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの作成に携わるとともに、保育所・幼稚園との合同研修会を実施し、保育士・幼稚園教諭との交流を深め、町内の幼保小の連携を促進するなど、継続的かつ計画的な幼小連携・接続のための教育課程の整備に寄与した。</p> <p>また、幼保の就学時懇談会では、保護者に対して小学校入学に向けた進路相談や子育てアドバイスなどの講話を行い、町内の幼小接続の円滑化に貢献しており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も幼小連携の推進のため、令和5年度から開園した「枝幸町認定こども園」を定期的に訪問し、保育職員・未就学児童と交流するなど、幼小連携の普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
池田町立池田中学校 教諭 さわべ しょう 澤 辺 渉 （39歳）	14年	令和 4 年度	<p>長年にわたり、小学校教諭・中学校教諭を経験しながら、体育科・保健体育科の授業改善に携わり、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむことができるよう、授業改善や体力向上に係る組織的な取組など、創意工夫ある教育活動を展開している。平成25年度からは体育専科教員として近隣校への乗り入れ授業や指導助言を行い、授業改善の取組を推進してきた。</p> <p>また、中学校授業実践スペシャリストとして、生徒が運動の楽しさを味わい、運動を豊かに実践することを目指した授業実践を行うとともに、公開授業及び講義を行い、管内の保健体育科教員の教育力向上に大きく貢献している。</p> <p>令和4年度には体力向上推進委員として、町内小・中学校の系統性や発達段階を踏まえた体力向上に向けた包括的な取組を行うため、町内小学校への乗り入れ授業を実施するとともに、管内の教職員に向けて、9年間を見通した体育科・保健体育科授業の教育課程編成の重要性や、外部機関との連携を図った体力向上に係る授業改善について説明するなど、管内の児童生徒の体力向上に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も、小中9年間の系統性を大切にした指導計画に基づく保健体育科の授業づくりを指導するための取組を進めるなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道士幌高等学校 教諭 さとう しょうぞう 佐 藤 正 三 (34歳)	11年	令和 4 年度	<p>高等学校の農業科教諭として、畜産の専門知識・技能を活用した教科指導の充実に努めるとともに、地域と連携した教育を実践し、地域の産業を担う人材育成に大きく貢献している。特に、農業クラブの指導の一環であるエゾシカの有効活用に関する取組において、外部団体・企業・大学等の関係機関との連携や各種コンテストへの応募等に積極的に取り組むとともに、取組の成果を報道等で広く発信するなど、農業教育の向上・振興に大きく貢献している。</p> <p>また、生徒たちの主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、思考力・判断力・創造力・表現力・言語力・分析力・コミュニケーション力など、職業人として必要な資質・能力を育成するなど、農業教育に関する指導の充実ににおける中核的な役割を果たしており、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もフードシステム科の学科長として、地域の食材を教材として活用することに取り組み、地域と連携した教育活動を実施している。</p>
釧路市立春採中学校 教諭 おおうち たくや 大 内 拓 哉 (32歳)	10年	令和 4 年度	<p>校内研修において「生徒自ら学びたくなる授業の在り方」を目指し、授業改善の取組の充実に尽力するとともに、校内の初任段階教員の育成に力を注ぐなど、創意工夫ある教育活動を展開している。特に、数学科教育において、生徒が数学的な見方・考え方を働かせて深い学びを実現する授業改善を目指した真摯な取組は他の模範となっている。また、「釧路市授業マイスター」として、釧路市教育委員会の授業交流サイトで動画配信するなど、数学科教育に関する指導の充実に中核的な役割を果たすとともに、各種研究大会で積極的に提言や授業公開を行うなど、本道の数学科教育の振興と充実に大きな成果を上げており、その実践は高く評価されている。</p> <p>その他の教育実践として、生徒指導主事として教職員と連携を図り、生徒への確かな支援や異学年交流活動等を推進し、生徒の人間関係形成・社会形成能力の育成に努めており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も日本数学教育学会第105回全国算数・数学教育研究（青森）大会で研究発表を行うなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
北海道釧路鶴野支援学校 教諭 かなや 金 谷 しほり (38歳)	11年	令和 4 年度	<p>知的障がい特別支援学校教諭として、長年音楽科の指導に携わってきた。特に、歌唱指導においては、大きな声で歌うように指導することに加えて、生徒たちに歌詞の意味や作者のメッセージを理解させ、生徒たち自身で工夫しながら歌唱に取り組むことができるよう指導するなど、創意工夫ある授業を展開している。</p> <p>また、学年主任としてきめ細かな学年経営を行うとともに、特に初任段階教員への指導により学校経営に大きく貢献しており、初任段階教員研修講師としても、釧路・根室管内の若手教員への教科等指導力などの定着に寄与している。</p> <p>令和3年度より特別支援教育コーディネーターとして、地域の支援体制構築において重要な役割を担っており、関係機関等と協力して問題解決に向かう取組を通じて、目指す学校像の具現化に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教育者表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も若手教員等の指導力の向上や教育環境の充実に努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験 年数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道標津高等学校 教諭 なかむら こういち 中 村 公 一 （44歳）	21年	令和 4 年度	<p>高等学校の外国語科（英語科）教諭として、新学習指導要領への深い理解と主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に対する熱意ある研究により、教育活動の充実・発展に資する取組を行うとともに、若手教員等に対して、積極的な指導助言を行い本校の組織力向上に寄与するなど、ミドルリーダーとして厚い信頼を得ている。校務分掌では、生徒指導部長や生徒会担当などを務め、「特別活動を通じた教育活動」の充実を図るため、積極的に学校と地域との連携に取り組み、地域に根差した社会活動を実践している。</p> <p>特に、防災教育においては、避難所運営ゲーム「標津町版オリジナルHUG」制作の中心的役割を担い、完成後には、標津町内のこども園、小学校及び中学校において、「標津町版オリジナルHUG」を活用した高校生による出前授業を実施することにより「地域循環型防災教育」の礎を築いた。また、標津町との連携により生徒会が東北地方等の被災地域の視察研修を行い、その研修成果を発信させる取組等が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（教職員表彰）を受賞した。</p> <p>さらに、令和5年度には、標津町と連携し、1学年全員に東北の被災地視察研修を体験させるなど、防災・減災教育により一層取り組んでいる。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和5年(2023年) 4月1日現在

2 教職員（若手教職員等奨励賞）（11名）

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
<p>深川市立一已小学校 教諭 おおの ひろふみ 大 野 寛 文 (31歳)</p>	6年	令和 4 年度	<p>初任段階を経て、メンターとなって初任段階教諭や若手教職員を対象に「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりやICTを活用した授業づくりの研修の推進に努めた。特に、様々な授業支援ソフトを活用した授業実践について、深川市をはじめ管内及び全道に発信することで、全道におけるICTを活用した授業改善に大きく貢献した。</p> <p>また、採用6年間で学んだICT教育のポイントや教員としての経験を生かし、若手教職員と交流及び研修を行うことで、若手教職員の授業力の向上に大きく貢献した。その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践受賞後もICTを活用した授業改善における研修の講師を積極的に行っている。</p>
<p>留寿都村立留寿都小学校 栄養教諭 こんどう みく 近 藤 美 来 (31歳)</p>	8年	令和 4 年度	<p>栄養教諭として、学校給食の充実に取り組み、安全・安心な給食の提供に尽力するとともに、学校教育活動全体を通じた食に関する指導を推進する中で、創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、オリンピック・パラリンピック参加国の代表食を学校給食で提供し、子どもたちの外国の食への関心を高めたほか、「ルスツふるさと給食まつり」を実施し、地域と連携して、地域の食材や地元事業者が製造した食品を献立に集中的に提供する週間を設け、地産地消による食への関心を高める取組の中核を担うなど、学校給食の充実に向けた取組は他の模範となり、本道の食育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、食に関する指導の授業づくりの推進に向けて中核的な役割を果たすとともに、初任段階教員研修において講師を務め、様々な取組を若い栄養教諭に紹介するなど、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も地元高校農業コース生産の野菜を活用するなど、校種間連携の推進や自己研さんに努めている。</p>
<p>北海道名寄高等学校 教諭 はまなか さとし 濱 中 聡 志 (31歳)</p>	7年	令和 4 年度	<p>地歴・公民科教諭として、ICTの効果的な活用や「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善に精力的に取り組んでおり、令和2年度から令和3年度までの2年間、授業改善セミナー（道北ブロック）における「現代社会」の授業スペシャリストとして自らの授業実践を発表するなど、上川管内や道北地区の地歴公民科教員の授業力向上に貢献している。また、公民科担当指導主事による研修等に参加し、校内の授業改善に取り組むほか、令和3年度から教務主任を務め、カリキュラム・マネジメントの実現に向けた教育課程の編成・実施や、組織的な授業改善や探究活動の充実を図っている。</p> <p>さらに、令和5年度の名寄市内の単位制新設校の開設に向け、統合推進委員会教務部会長として、建設的な議論を重ね、新設校のカリキュラムや教務内規を整備するなど、その活躍は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>上記実践表彰を受賞後も令和5年度北海道高等学校教育課程改善会議の構成員として、北海道教育委員会が主催する「高等学校教育課程編成・実施の手引作成協議会」に参加し、地理教科の手引作成者として指名を受けるなど、現任校での取組を基に全道にわたる貢献をしている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
北海道旭川盲学校 教諭 ひさもり しょうぶ 久 守 勝 武 (30歳)	6年	令和 4 年度	<p>道内に4校ある視覚支援学校のうち、前任の帯広盲学校と現任校の2校においてICTを活用し、教材・教具の工夫をした指導及び支援の充実を図っている。</p> <p>特に、学習指導においては、数学科の担当教員として視覚に障がいのある児童生徒一人一人に対して、各自の見え方や実態に応じた分かる授業を目指し、先進的な技術を豊富に取り入れ、アイデアあふれる授業及び教材開発を行い、児童生徒が「できた・分かった」が実感できる授業実践を通して、本道の視覚障がい教育の振興と充実に大きな成果を上げており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後もクラウドサービスの活用、各種アプリケーションを使った効果的な指導方法について、教職員の理解度や知識に応じて丁寧に対応し実施するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>
小清水町立小清水小学校 教諭 みやた かずひろ 宮 田 一 央 (27歳)	4年	令和 4 年度	<p>小学校の教員として、楽しく学び、分かる授業づくりに積極的に取り組み、児童一人一人に基礎・基本の定着を図る教育活動の推進に努めている。</p> <p>特に、北海道道徳教育推進校の指定校である前任校の網走市立白鳥台小学校では、「考え、議論する道徳」の実現に向け、「特別の教科道徳」の特質を踏まえた授業改善に取り組んできた。</p> <p>令和3年度には研修部長として、道徳科における「多面的・多角的な思考」を促す発問構成や指導過程の工夫等、道徳教育の質的向上の取組等について、公開研究会を通じて全道の学校に情報発信するとともに、他校からの講師依頼、資料提供に積極的に応じ、管内教育の充実・発展に寄与してきた。</p> <p>また、地域教育政策推進事業「教えて！先生の仕事～中高生向け教職教養セミナー」の講師を務め、将来教員を目指す中学生・高校生等に対して、教職の素晴らしさ、道徳教育の意義等を伝えたり、網走市学力向上フォーラムで「若手教員授業づくり」の講師を務め、道徳科の評価の在り方等についてワークショップを開催するなど、後進となる人材の育成にも寄与しており、これらの実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も道徳教育の指導方法の工夫に取り組んでいる。</p>
紋別市立潮見小学校 教諭 いのうえ だいすけ 井 上 大 輔 (29歳)	6年	令和 4 年度	<p>豊富な教育的専門知識により、児童が意欲的に学ぶ集団づくりや主体的に学ぶ授業づくりを推進している。</p> <p>また、ICTを活用した授業づくりを積極的に行い、情報収集や教材提示だけではなく、考えの構成や整理、交流、深化等、児童の思考ツールとしての活用を日常的に行っている。</p> <p>校内では積極的に授業公開するなど自身の実践を広く紹介するとともに、授業づくりで悩んでいる若手教員に親身に相談に乗り的確なアドバイスをするなど中堅教員としての役割を果たしている。</p> <p>研修副部長として、GIGAスクール構想の実現に向け、ICTを活用した授業などの取組のほか、校内研修では中心的役割を担い、研修の企画・運営のほか、ミニ実技研修の講師を引き受けるなど、学校全体の授業力向上に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も組織的な校内研修の構築を目指し、初任者層の人材育成に力を発揮するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経 験 年 数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
紋別市立紋別小学校 教諭 のじり さとる 野 尻 智 (32歳)	6年	令和 4 年度	<p>児童の主體的・対話的で深い学びの実現のため、算数科の授業実践を通して、発問、問い返しの工夫等の授業改善に取り組み、後進の授業改善のため、指導、助言を日常的に実施している。</p> <p>オホーツク管内算数数学教育研究会に所属し、日常的な算数指導の充実に取り組みほか、令和3年度第76回北海道算数数学教育研究大会釧路大会において実践発表を行うなど、中心的役割を担っている。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査における自校の課題と授業で取り扱う学習内容を関連付け、児童の学力向上に向け、日常的な授業改善に取り組んでいる。</p> <p>さらに、「道徳教育推進教師」として、全道の教職員を対象に公開授業や文部科学省教科調査官浅見氏の講演会を開催するなど、授業力や資質の向上を図っている。</p> <p>オホーツク管内の算数科の教育セミナーにおいて、日常授業におけるデジタル教科書を用いたICT機器の効果的な活用に係る実践について発表するなど、管内教育の充実に大きく貢献しており、その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も文溪堂 月刊「道徳と特別活動」において、道徳授業の実践や適切な補助発問について執筆し、道徳教育を推進することが期待される教諭として北海道道徳教育推進会議に参加している。</p>
北海道紋別高等学校 教諭 おおぶち たかし 大 淵 貴 志 (28歳)	4年	令和 4 年度	<p>令和元年度から国の委託事業を受け、道徳教育の推進を図り、その中心となって研究を進めてきた。</p> <p>特に、道徳教育の全体計画が、教育活動全体において円滑に進められるよう「単元配列表」の作成・活用に取り組んだ。その成果については、全道の道徳教育推進会議や教育課程研究協議会で紹介されるなど、多くの学校の参考になった。</p> <p>また、オホーツク管内高等学校地歴・公民科研究協議会においては、新たな科目「公共」について、積極的に公開授業を行うなど、管内の地歴・公民科教育をけん引している。その実践が高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに教務部長として、生徒個々に応じた指導体制の構築を図りながら自己研さんに努めている。</p>
帯広市立若葉小学校 教諭 しおざわ ゆうな 塩 沢 祐 菜 (26歳)	4年	令和 4 年度	<p>教材研究に熱心に取り組み、魅力ある授業づくりを目指し日々努力している。基礎基本の定着を図るとともに、主體的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。</p> <p>令和5年度は研究部の一員として、校内研修の充実に努めている。自身のスキルアップに努めると同時に、校内研究の授業者として授業改善を積極的に提案、発信している。</p> <p>また、令和4年度は北海道道徳教育研究大会根室・中標津大会の授業者として道徳科の授業改善に取り組み、児童がより良く生きるための基盤となる道徳性を養うため、自己の生き方を深める授業改善の在り方について意欲的に研さんを積むなど、その実績は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も日常実践の検証と校内研修の工夫を効果的に連動させた授業改善の取組を実践するなど、自己研さんに努めている。</p>

所属・職・氏名（年齢）	教職員 経験 年数	道教育 実践表 彰年度	主 な 実 践
広尾町立広尾小学校 教諭 かわむら 川 村 まどか (30歳)	7年	令和 4 年度	<p>小学校教諭として、国語科教育の充実に取り組み、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、児童の資質・能力を高めるための言語活動を単元計画に位置付けた授業として展開している。</p> <p>特に、授業力に長けており、校内研修等において児童を中心に据えた授業改善を提案・推進し、広尾町教育研究大会では授業者として、児童が身に付いた力を実感できる授業展開を町内や近隣市町村に発信するなど、大きな成果を上げている。</p> <p>また、「生徒指導の機能」を生かした学級づくりをし、Q-Uアンケートの分析を活用するなどの工夫のほか、児童を褒めるとき、指導するときの瞬間を見逃さない能力が高く、児童から信頼を得て学校経営を行っている。</p> <p>メンター研修では、初任段階の職員に学級経営について指導を行うなど、本道の教育の振興と充実に大きな成果を上げており、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰受賞後も特別支援教育分野でのより良い指導の在り方を追求するために各種研修会に率先して参加し、その成果を普及啓発するとともに自己研さんに努めている。</p>
大樹町立大樹中学校 教諭 おおくぼ たくや 大久保 拓 弥 (29歳)	7年	令和 4 年度	<p>中学校教諭として、自校の国語科教育における授業改善に取り組み、学校力の向上に尽力するとともに生徒の「書く力」の向上に向けた創意工夫ある教育活動を展開している。</p> <p>特に、第75回北海道国語科教育研究大会で「書くこと」部会における授業公開を行うなど、国語科教員の資質・能力の向上を図るとともに、「書くこと」の指導を全職員に提唱し、教科横断的な視点から指導を徹底する校内体制づくりを推進するなど、本道の国語科教育の振興と充実に大きな成果を上げている。</p> <p>また、作文指導を充実させることにより、複数の大会において、多数の生徒の受賞や学校賞受賞に導くなど、その実践は高く評価され、令和4年度に北海道教育実践表彰（若手教職員等奨励賞）を受賞した。</p> <p>さらに、上記実践表彰を受賞後も積極的に授業公開を実施するなど、普及啓発及び自己研さんに努めている。</p>

※ 年齢及び教職員経験年数は、令和5年(2023年) 4月1日現在